

目 次

I 調査概要	1
II 調査結果	
～今年の新入社員のタイプは～	2
問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思っていますか？	3
問2 社会人となるにあたり期待や不安は？	4
問3 社会人生活にどんな期待がありますか？	5
問4 社会人生活にどんな不安がありますか？	6
問5 仕事をする上で重視することは何ですか？	7
問6 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？	8
問7 今の企業を選んだ理由は何ですか？	9
問8 職場環境に望むことは何ですか？	10
問9 上司や先輩に期待することは何ですか？	11
問10 あなたが今自信のある能力はどれですか？	12
問11 自信はないが、今後意識的に強化したい能力はどれですか？	12
問12 残業についてお聞かせください	13
問13 仕事とプライベートについてお聞かせください	14
問14 30歳時点で目指す年収はいくらですか？	15

I 調 査 概 要

1. 調査期間 2022年3月29日、4月4日 ～ 4月7日
2. 方 法 無記名アンケート方式
3. 対 象 あわぎんビジネスカレッジ主催
「新入社員セミナー」参加者
4. 参加企業 94社
5. 参加者数 343名
6. 回答者数 203名 回収率 59.1%

(内訳)

	大学卒	短大卒	高校卒	計
男性	49	24	24	97
女性	41	29	28	98
無回答	5	1	2	8
計	95	54	54	203

(注) 短大卒に専門学校卒を含む

～今年の新入社員への傾向は～

1. 人生観は多様化。自身の成長意欲は積極的、他者や社会への貢献にも関心

- ・「どんな生き方をしたいか」の質問に対しての回答が昨年までと大きく変動。トップが「自分の能力を発揮できる生き方」で23.2%、2位「平凡な生き方」、3位「豊かな生活」と続いた。長年1位だった「幸せな家庭を築きたい」が10ポイント以上も低下し、「社会の役に立ちたい」が初めて10%を超えた。(問1)
- ・社会人生活への期待は、「人間として成長できる」58.6%と「収入が得られる」54.7%が過半数の人が選択。次ぐ上位に「技術・スキルを身に付けられる」と「社会や会社に貢献できる」が選ばれた。(問3)
- ・仕事の上で重視することは、1位の「やりがい・楽しさ」65.5%と、2位の「自分自身の成長」52.2%の2項目が過半数の人が選択。(問5)
- ・徳島県内の企業を選んだ理由として、「地元で働きたい」が54.7%と昨年までと比べ倍以上に伸びた。(問6)
- ・仕事とプライベートに優先度は、「どちらかといえばプライベート」が49.0%で1位だが、「仕事優先」「どちらかといえば仕事」で38.9%と仕事優先割合も向上。(問13)
- ・期待年収については1位が400万円台で30.0%、2位が300万円台で27.1%。500万円台以上の選択率が昨年の54.1%から37.0%まで大きく低下。(問14)

2. より人間関係を重視、お互いに尊重し協働する職場を望む

- ・希望する職場環境は1位「お互い協力し助け合う風土」65.0%、2位「アットホームな雰囲気」52.7%と断トツ。次いで「遠慮せずに意見を言い合える」、「個性を尊重する」が選ばれている。(問8)
- ・上司や先輩への期待については、「丁寧な指導」が52.2%で1位、2位が「相手の意見や考え方をよく聞く」で40.9%。反面、「周囲を引っ張るリーダーシップ」や「言うべきことは言い、厳しく指導」は総じて選択率が低い。(問9)
- ・社会人生活に対しての不安は、「仕事についていけるか」の選択率が73.4%と断トツだがこれは妥当な結果。他に「会社内の人間関係」44.3%、「仕事と私生活のバランス」36.9%、「環境変化への対応」30.0%、「会社への適合性」29.6%などへの不安が高い結果となっている。(問4)

3. 強みは周囲との「協調・協働」、強化すべきスタンスは「自発」「試行」

- ・仕事をする上で、自信のある能力(自身の強み)は、1位「傾聴力」で33.5%、2位が「主体性」で28.1%、それに「柔軟性」27.1%、「実行力」と「規律性」が23.2%、「状況把握力」21.7%と選ばれた。自信はないが意識的に強化したい(必要と考える)能力は、1位「主体性」39.4%、2位「計画力」29.1%、以下「実行力」と「発信力」が28.6%、「働きかけ力」27.6%、「創造力」21.2%と選ばれている。(問10、問11)

【まとめ】

Z世代とも呼ばれる今年の新入社員は、2年以上にわたる新型コロナ禍での生活、デジタル技術の著しい発達等の中で、オンラインでのコミュニケーションや新しいワークライフバランスなどに触れ、新しい価値観を持って育ってきている。「SDGs」や「社会的課題の解決」といったキーワードも企業やメディアからの発信で頻繁に目にもすることもあり、働くことに対する価値観としては「楽しくやりがいのある仕事をする」「仕事を通じて自分を高める」「社会貢献をする」といった特徴がうかがえる。また、働きたい職場環境や上司や先輩への期待については、より人間関係を重視する傾向が強くなっている状況が見てとれる。

積極的なコミュニケーションや丁寧な指導で信頼関係を構築することはもちろん、指導に当たっては、今の仕事の意義や目的を明確に示し、その仕事への取り組みによってどのような能力が身につくのか、会社や社会にどのような貢献となるのか、などをきちんと伝えることが求められる。

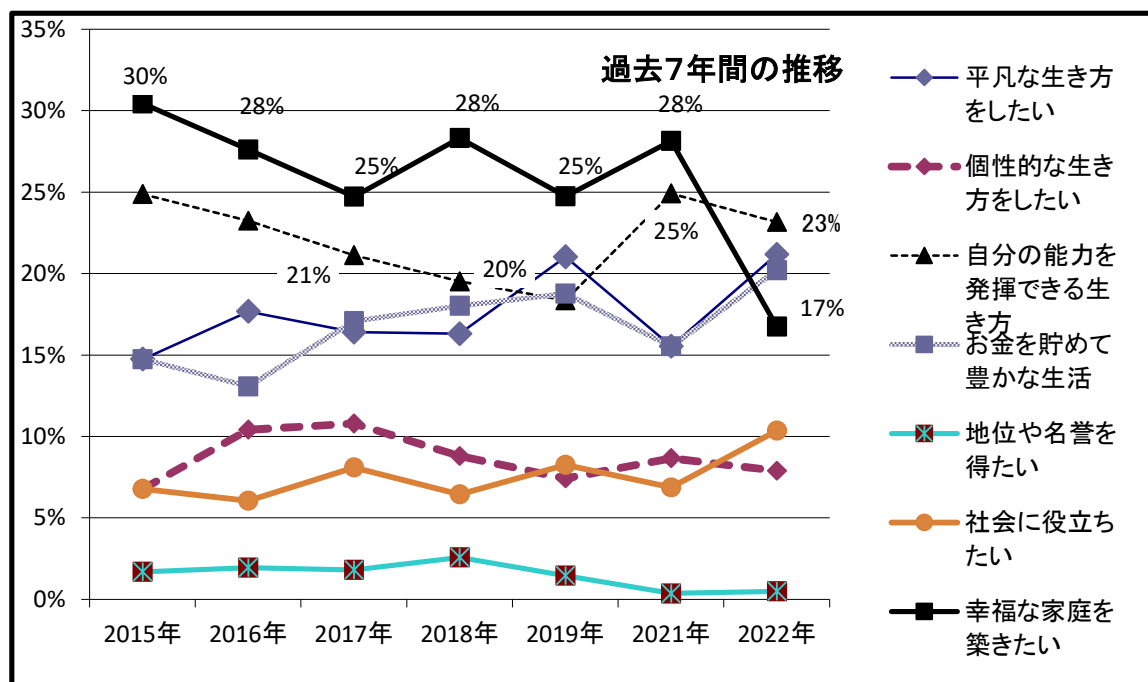
問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思いますか？

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	その他	高校卒	短大卒	大学卒
平凡な生き方をしたい		21.2%	24.7%	16.3%	37.5%	24.1%	16.7%	22.1%
個性的な生き方をしたい		7.9%	8.2%	5.1%	37.5%	11.1%	7.4%	6.3%
自分の能力を発揮できる生き方をしたい		23.2%	30.9%	17.3%	0.0%	11.1%	24.1%	29.5%
お金を貯めて豊かな生活をしたい		20.2%	18.6%	22.4%	12.5%	33.3%	22.2%	11.6%
地位や名誉を得たい		0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
社会に役立ちたい		10.3%	6.2%	15.3%	0.0%	7.4%	13.0%	10.5%
幸福な家庭を築きたい		16.7%	10.3%	23.5%	12.5%	13.0%	16.7%	18.9%

「生き方」に対する価値観は多様に変化

この設問が設定されて以来、約30年間1位であった「幸福な家庭を築きたい」が昨年の28.2%から16.7%まで大きく低下し4位に。1位は昨年から1.7ポイント低下したものの、23.2%で「自分の能力を発揮できる生き方をしたい」となった。2位は「平凡な生き方をしたい」で21.3%、3位に「お金を貯めて豊かな生活をしたい」が20.2%と続いた。また、「社会の役に立ちたい」は初めて10%を超えた。

「幸福な家庭を築きたい」は男女別・学歴別でもすべてのカテゴリーで低下。男女別で見た場合、女性では23.5%と1位ではあるが、かつては50%を超えていたことを考えると、女性の社会進出の増加とともに大きく意識も変化してきている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

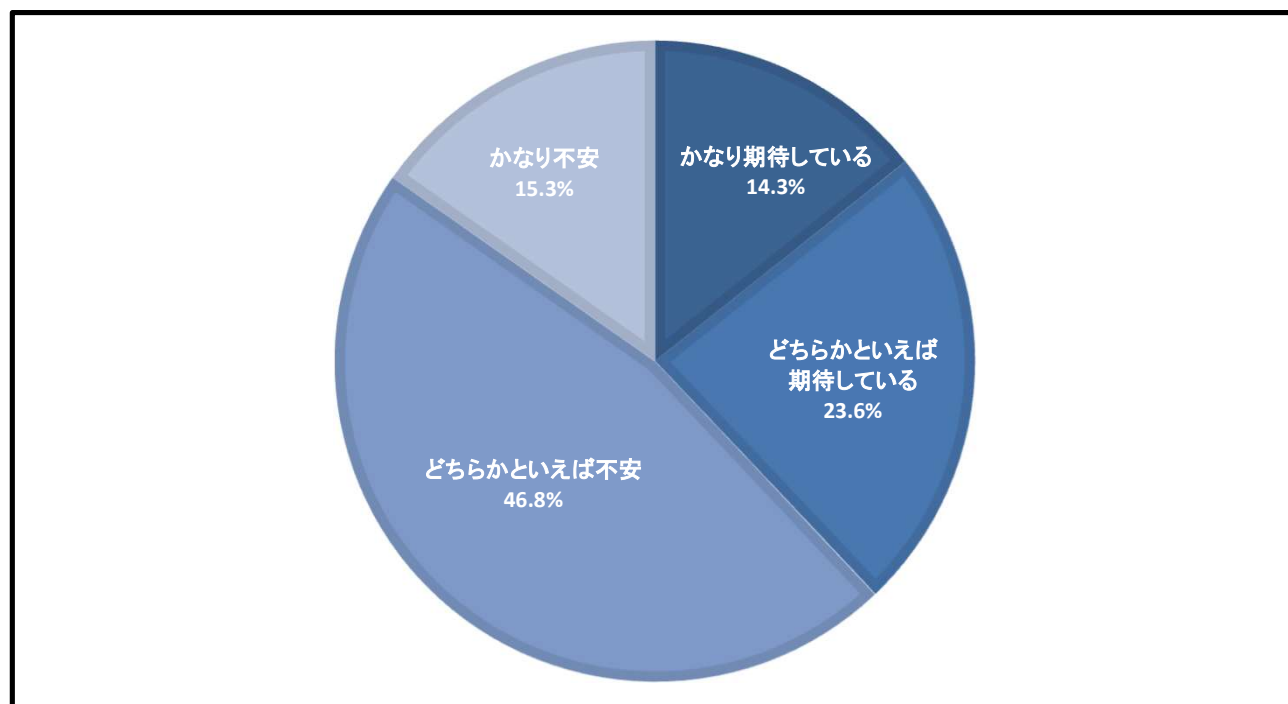
問2 社会人となるにあたり期待や不安は？

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
かなり期待している		14.3%	21.6%	8.2%	0.0%	5.6%	20.4%	15.8%
どちらかといえば期待している		23.6%	25.8%	22.4%	12.5%	11.1%	25.9%	29.5%
どちらかといえば不安		46.8%	42.3%	52.0%	37.5%	61.1%	35.2%	45.3%
かなり不安		15.3%	10.3%	17.3%	50.0%	22.2%	18.5%	9.5%

不安が6割

1位の「どちらかといえば不安」と2位の「かなり不安」で全体の62.1%を占めた。今までの生活が大きく変化するためやはり期待よりも不安が先立つ人が多いが、裏返せば自分でも気付かないうちに社会人としての責任感を意識しているのかもしれない。

学歴別からは、若いほど不安の比率が大きいことが見てとれる。やはりこれまで触れてきた世界の範囲が狭いほど、社会に出る不安は大きい。



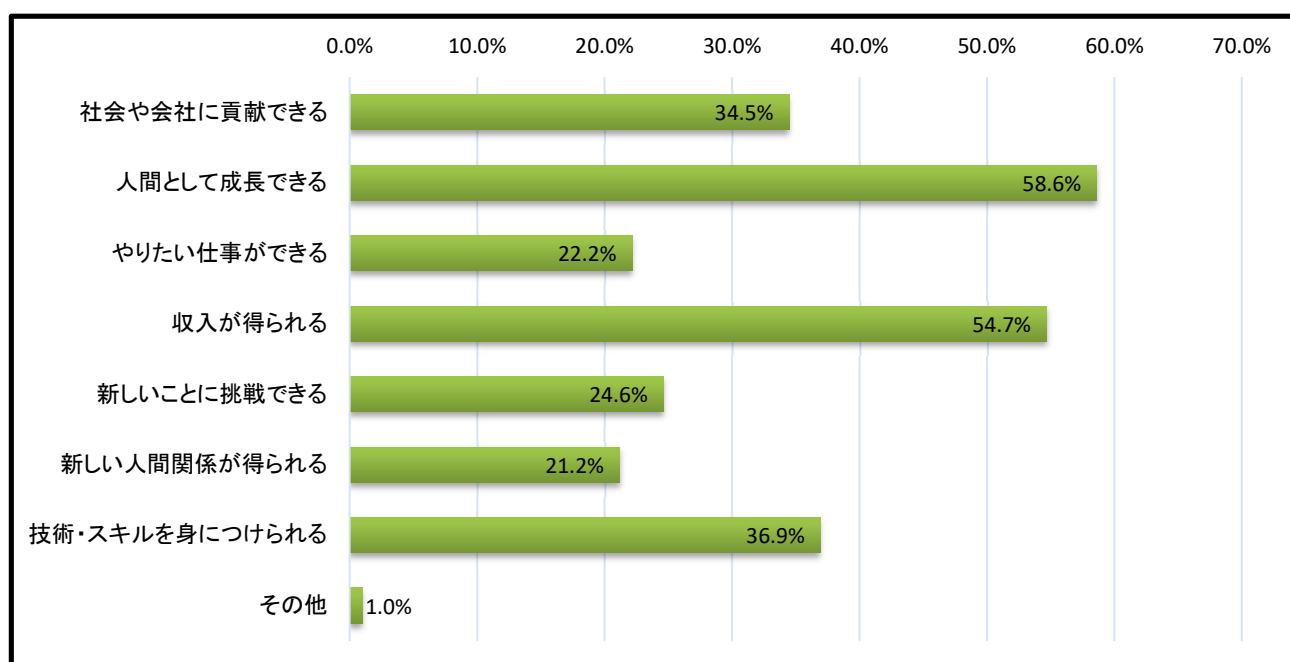
※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問3 社会人生活にどんな期待がありますか？(複数回答可、最大3項目)

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
社会や会社に貢献できる		34.5%	38.1%	30.6%	37.5%	29.6%	25.9%	42.1%
人間として成長できる		58.6%	60.8%	56.1%	62.5%	48.1%	63.0%	62.1%
やりたい仕事ができる		22.2%	22.7%	22.4%	12.5%	13.0%	33.3%	21.1%
収入が得られる		54.7%	51.5%	58.2%	50.0%	61.1%	50.0%	53.7%
新しいことに挑戦できる		24.6%	29.9%	20.4%	12.5%	14.8%	27.8%	28.4%
新しい人間関係が得られる		21.2%	19.6%	22.4%	25.0%	16.7%	20.4%	24.2%
技術・スキルを身につけられ		36.9%	33.0%	39.8%	50.0%	37.0%	33.3%	38.9%
その他		1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.1%

期待は人間的成長と自分の力で収入を得ることが上位

社会人生活への期待は1位が「人間として成長できる」で選択率は58.6%、2位が「収入が得られる」で54.7%、若干差が空いて3位「技術・スキルを身につけられる」36.9%、4位「社会や会社へ貢献できる」34.5%と続いた。男女別、学歴別とも上位2項目とそれに続く2項目、加えてその差についても同様の傾向となった。ただ、それ以外の項目についても一定数が選んでおり、当然ではあるがそれぞれが幅広い期待を持って社会人生活をスタートさせている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

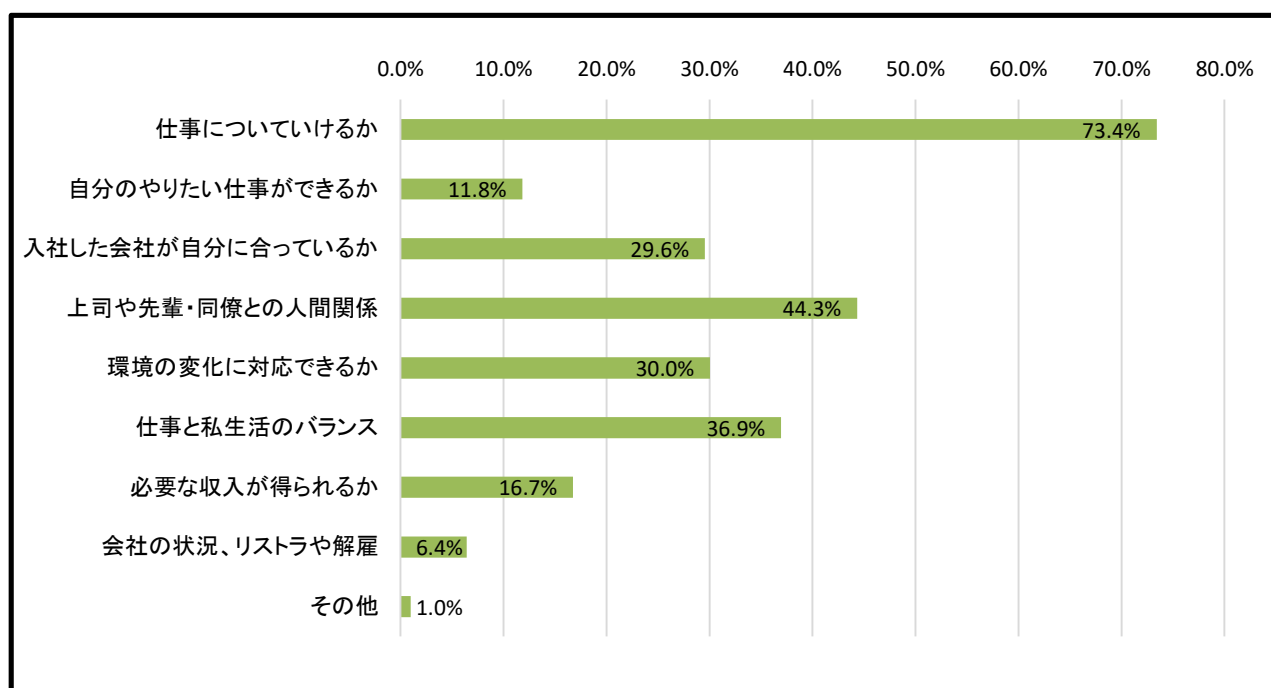
問4 社会人生活にどんな不安がありますか？(複数回答可、最大3項目)

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
仕事についていけるか		73.4%	70.1%	75.5%	87.5%	83.3%	72.2%	68.4%
自分のやりたい仕事ができるか		11.8%	12.4%	9.2%	37.5%	11.1%	7.4%	14.7%
入社した会社が自分に合っているか		29.6%	25.8%	32.7%	37.5%	25.9%	27.8%	32.6%
上司や先輩・同僚との人間関係		44.3%	42.3%	46.9%	37.5%	33.3%	57.4%	43.2%
環境の変化に対応できるか		30.0%	30.9%	31.6%	0.0%	22.2%	33.3%	32.6%
仕事と私生活のバランス		36.9%	36.1%	36.7%	50.0%	37.0%	31.5%	40.0%
必要な収入が得られるか		16.7%	19.6%	14.3%	12.5%	11.1%	11.1%	23.2%
会社の状況、リストラや解雇		6.4%	10.3%	3.1%	0.0%	5.6%	3.7%	8.4%
その他		1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.9%	1.1%

大半の新入社員が仕事についていけるか不安

選択率73.4%と大半の人が「仕事についていけるか不安」を選択。新社会人としてもっともな感情であると言える。続いて「上司や先輩・同僚との人間関係」が44.3%、「仕事と私生活のバランス」が36.9%、「環境の変化に対応できるか」が30.0%、「入社した会社が自分に合っているか」が29.6%となった。

今までと違う生活に不安を感じるのは当然なことに加え、ここ2年間の新型コロナの影響などがアンケート結果に表れている可能性は大きい。授業も含めオンライン環境に長く接したおかげで、人との直接の接触が減少し人間関係の構築に不安が多くなったり、プライベートと仕事のメリハリがつきにくくなったりすることを、経験上予想しているのかもしれない。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

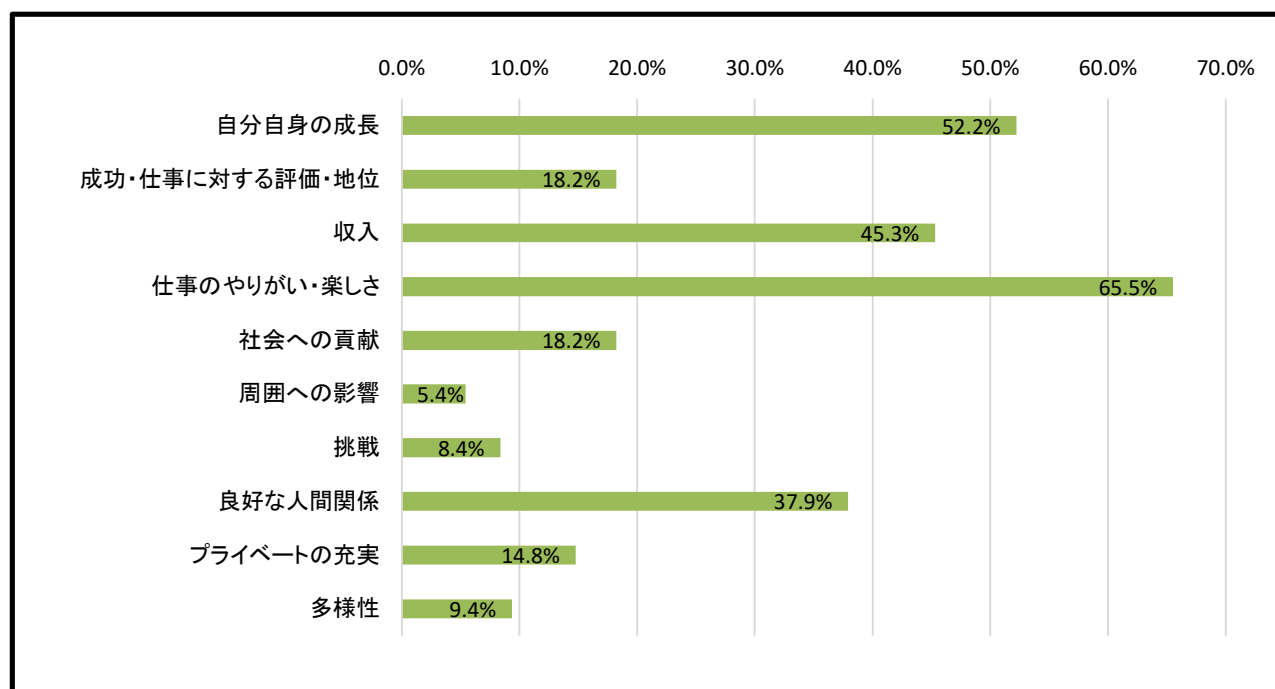
問5 仕事をする上で重視することは何ですか？(複数回答可、最大3項目)

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
自分自身の成長		52.2%	58.8%	44.9%	62.5%	42.6%	51.9%	57.9%
成功・仕事に対する評価・地位		18.2%	25.8%	11.2%	12.5%	18.5%	18.5%	17.9%
収入		45.3%	43.3%	44.9%	75.0%	42.6%	46.3%	46.3%
仕事のやりがい・楽しさ		65.5%	53.6%	77.6%	62.5%	68.5%	72.2%	60.0%
社会への貢献		18.2%	21.6%	15.3%	12.5%	16.7%	16.7%	20.0%
周囲への影響		5.4%	7.2%	3.1%	12.5%	3.7%	5.6%	6.3%
挑戦		8.4%	13.4%	3.1%	12.5%	3.7%	11.1%	9.5%
良好な人間関係		37.9%	28.9%	48.0%	25.0%	35.2%	38.9%	38.9%
プライベートの充実		14.8%	0.0%	28.6%	25.0%	22.2%	18.5%	1.1%
多様性		9.4%	18.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.4%

仕事に求めるのは「やりがい」、「成長」

「仕事のやりがい・楽しさ」が選択率65.5%でトップ。2位に「自分自身の成長」52.2%、3位「収入」45.3%、4位「良好な人間関係」37.9%と続いた。「周囲への影響」や「挑戦」、「多様性」の選択率が低い結果となった。

上司や先輩とのコミュニケーション良好な職番環境で、やりがいの感じられる仕事を通じて自分自身の成長にも繋がりたいという希望が感じられる。反面、仕事の結果として生み出される「評価や地位」、「社会への貢献」については2項目とも18.2%、「周囲への影響」は最下位となっている。出世や会社・社会への貢献というよりも、自身の充実感・納得感を重視する傾向にある。キーワードは「やりがい」と「成長」と言える。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

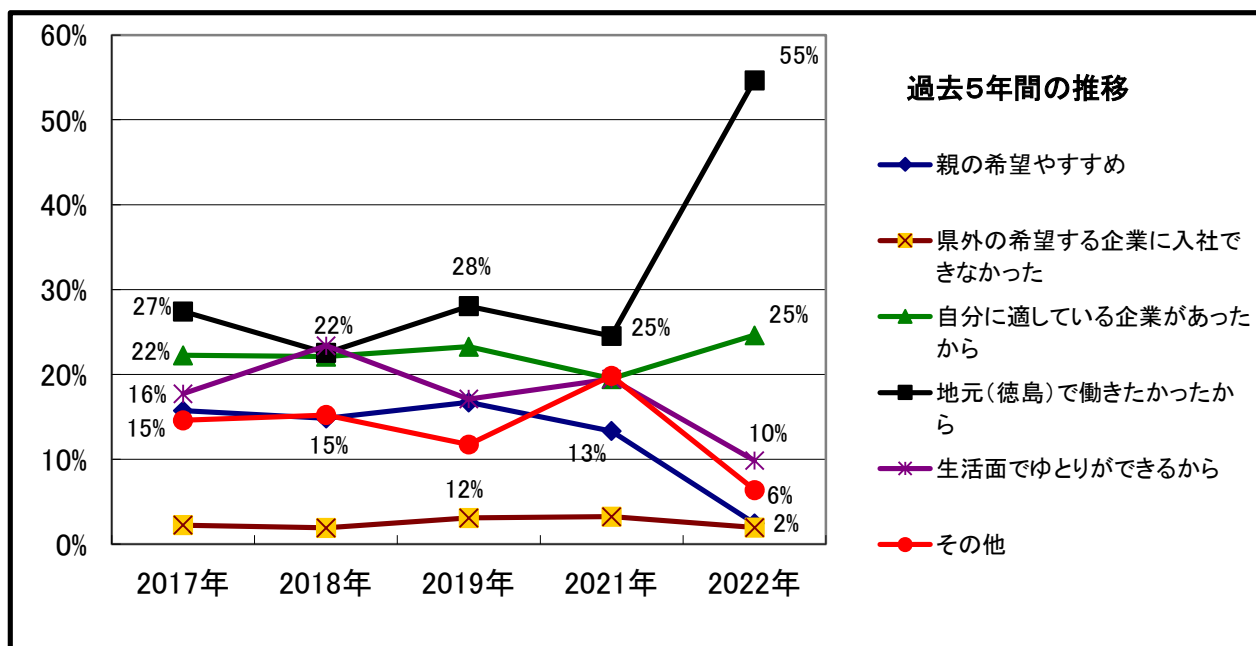
問6 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
自分に適している企業があったから		24.6%	24.7%	23.5%	37.5%	24.1%	27.8%	23.2%
地元(徳島)で働きたかったから		54.7%	54.6%	56.1%	37.5%	53.7%	48.1%	58.9%
生活面でゆとりができるから		9.9%	11.3%	7.1%	25.0%	13.0%	11.1%	7.4%
親の希望やすすめ		2.5%	1.0%	4.1%	0.0%	3.7%	1.9%	2.1%
県外の希望する企業に入社できなかった		2.0%	2.1%	2.0%	0.0%	1.9%	1.9%	2.1%
その他		6.4%	6.2%	7.1%	0.0%	3.7%	9.3%	6.3%

地元志向さらに強まる

3年続けて「地元(徳島)で働きたかった」が第1位となったが、例年の倍以上54.7%と圧倒的な比率。2位は「自分に適している企業があった」で、昨年より5.1ポイント増加し24.6%となった。上位2項目で約8割を占め、それ以外の理由については比率を下げている。男女別・学歴別とも総じて同じ結果となっている。

やはりこれも新型コロナ禍で学生生活を過ごしたことにより、地元徳島への思いが見直される機会となったのではないかと推察する。また、自らの意志で地元で働きたいという思いの、受け皿となる企業の存在も大きく、様々な業種が積極的に新卒採用を実施していることがうかがえる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

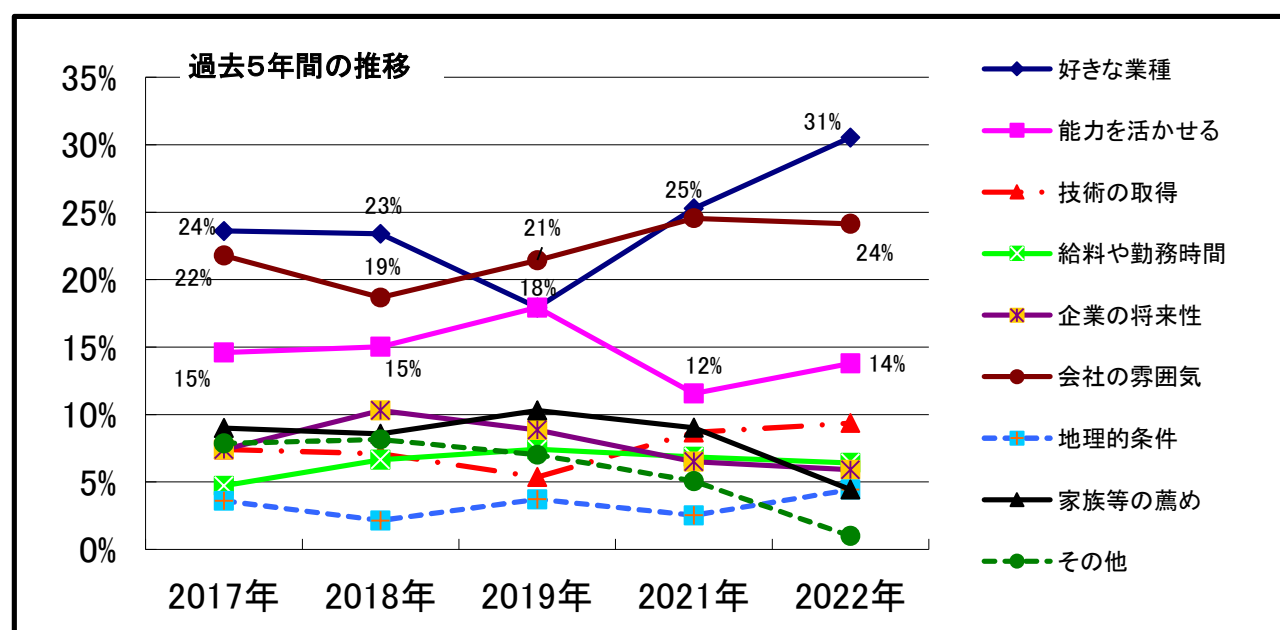
問7 今の企業を選んだ理由は何ですか？

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
自分の好きな業種だから		30.5%	28.9%	31.6%	37.5%	29.6%	40.7%	25.3%
自分の能力や個性を生かせるから		13.8%	14.4%	13.3%	12.5%	16.7%	11.1%	13.7%
技術が覚えられるから		9.4%	12.4%	7.1%	0.0%	7.4%	14.8%	7.4%
労働条件が良いから		6.4%	10.3%	3.1%	0.0%	0.0%	9.3%	8.4%
将来性のある企業だから		5.9%	5.2%	7.1%	0.0%	7.4%	7.4%	4.2%
会社の雰囲気が良いから		24.1%	21.6%	27.6%	12.5%	31.5%	11.1%	27.4%
地理的条件が良いから		4.4%	3.1%	4.1%	25.0%	1.9%	3.7%	6.3%
家族や恩師に薦められたから		4.4%	3.1%	5.1%	12.5%	3.7%	1.9%	6.3%
その他		1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.1%

自分の価値で将来を見据えて会社を選ぶ

企業を選んだ理由の1位は「自分の好きな業種だから」で、昨年より4.9ポイント上昇し30.5%。2位が「会社の雰囲気が良いから」24.1%で前年比0.4ポイント減、3位が「自分の能力や個性を生かせるから」で前年比2.2ポイント上昇の13.8%となった。上位3項目の変化はなく、その順位も3年連続で同じ結果となり、例年同様に自分の目指すべき職種や企業のイメージは重要視されている。

各選択肢を昨年と比べてみると、「自分の好きな業種」・「自分の能力や個性を生かせる」・「技術が覚えられる」・「地理的条件」のそれぞれの比率が上昇しており、「労働条件」・「将来性」・「会社の雰囲気」・「家族や恩師の薦め」が低下。受け身ではなく、自分の将来を見据え成長するために会社を選ぶ、といった前向きな姿勢が見て取れる。



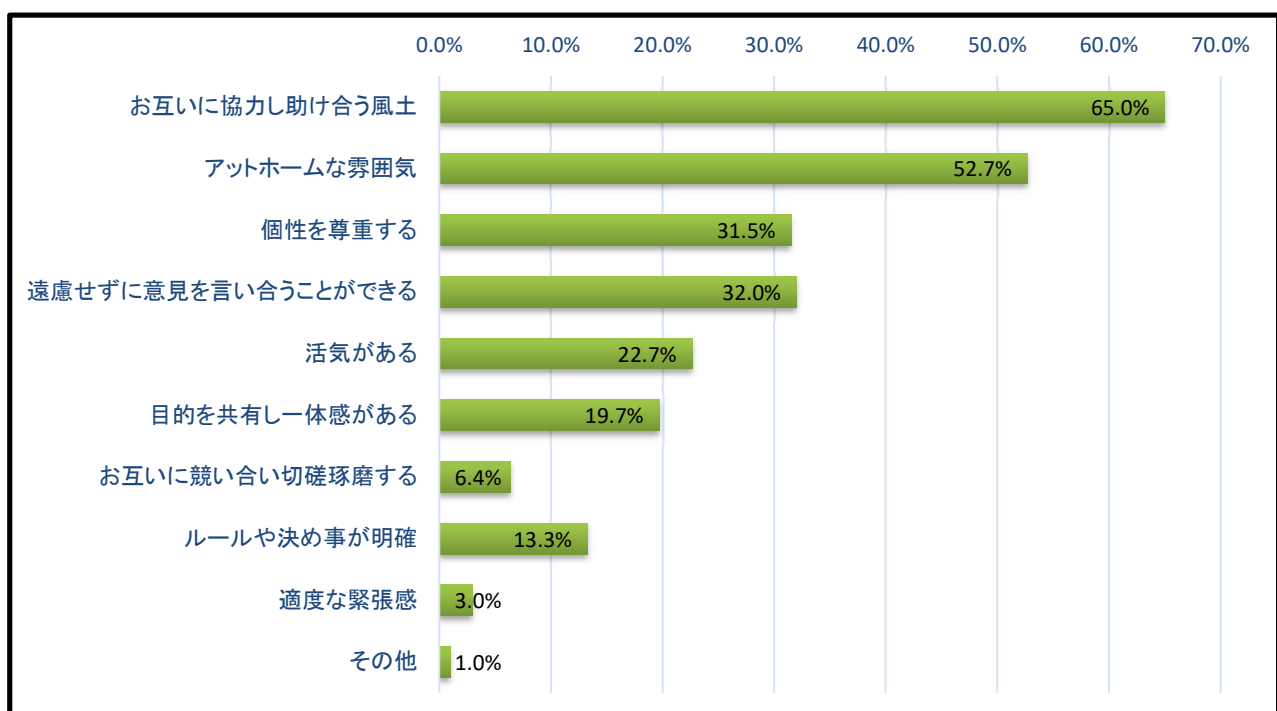
※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位3項目のみ表示)

問8 職場環境に望むことは何ですか？(複数回答可、最大3項目)

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
お互いに協力し助け合う風土		65.0%	62.9%	69.4%	37.5%	61.1%	75.9%	61.1%
アットホームな雰囲気		52.7%	44.3%	61.2%	50.0%	51.9%	57.4%	50.5%
個性を尊重する		31.5%	33.0%	28.6%	50.0%	18.5%	37.0%	35.8%
遠慮せずに意見を言い合うことができる		32.0%	34.0%	32.7%	0.0%	22.2%	31.5%	37.9%
活気がある		22.7%	22.7%	21.4%	37.5%	31.5%	18.5%	20.0%
目的を共有し一体感がある		19.7%	20.6%	19.4%	12.5%	11.1%	18.5%	25.3%
お互いに競い合い切磋琢磨する		6.4%	10.3%	3.1%	0.0%	3.7%	5.6%	8.4%
ルールや決め事が明確		13.3%	15.5%	11.2%	12.5%	16.7%	11.1%	12.6%
適度な緊張感		3.0%	3.1%	2.0%	12.5%	3.7%	3.7%	2.1%
その他		1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.9%	1.1%

働きたいのは「お互いに助け合う」「アットホームな」職場

1位が「お互いに協力し助け合う風土」で選択率65.0%、2位が「アットホームな雰囲気」で52.7%、3位は「個性を尊重する」と「遠慮せずに意見を言い合うことができる」がほぼ同程度の選択率となっている。「競い合い切磋琢磨」「適度な緊張感がある」ような雰囲気は非常に支持が少ない。同じ質問内容の全国的な調査でもほぼ同様な結果となっており、お互いを尊重し、気兼ねなく意見を言い合える職場、「チームで仕事をする」という風土が好まれている。また、男女別で見ると、女性の方が顕著にこの傾向が表れている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問9 上司や先輩に期待することは何ですか？(複数回答可、最大3項目)

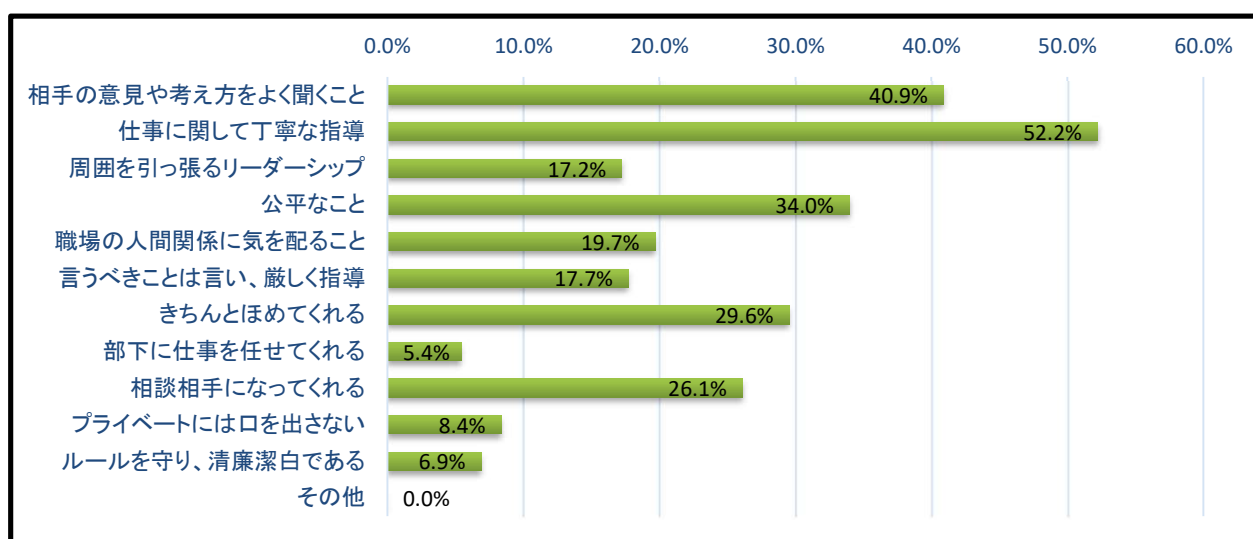
項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
相手の意見や考え方をよく聞くこと		40.9%	43.3%	37.8%	50.0%	37.0%	42.6%	42.1%
仕事に関して丁寧な指導		52.2%	50.5%	52.0%	75.0%	48.1%	53.7%	53.7%
周囲を引っ張るリーダーシップ		17.2%	21.6%	13.3%	12.5%	18.5%	11.1%	20.0%
公平なこと		34.0%	32.0%	35.7%	37.5%	31.5%	42.6%	30.5%
職場の人間関係に気を配ること		19.7%	15.5%	23.5%	25.0%	13.0%	29.6%	17.9%
言うべきことは言い、厳しく指導		17.7%	19.6%	17.3%	0.0%	14.8%	22.2%	16.8%
きちんとほめてくれる		29.6%	23.7%	35.7%	25.0%	35.2%	31.5%	25.3%
部下に仕事を任せてくれる		5.4%	6.2%	5.1%	0.0%	3.7%	5.6%	6.3%
相談相手になってくれる		26.1%	28.9%	25.5%	0.0%	14.8%	20.4%	35.8%
プライベートには口を出さない		8.4%	8.2%	7.1%	25.0%	7.4%	5.6%	10.5%
ルールを守り、清廉潔白である		6.9%	6.2%	8.2%	0.0%	5.6%	1.9%	10.5%
その他		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「傾聴し丁寧な指導をしてくれる上司」を望んでいる

1位が「仕事に関して丁寧な指導」で52.2%、2位が「相手の意見や考え方をよく聞くこと」で40.9%。以下、「公平なこと」「きちんとほめてくれる」と続く。

男女ともに上位同じだが、「きちんとほめてくれる」「職場の人間関係に気を配る」については女性が男性よりも割合が高い。

「厳しい指導、強いリーダーシップで引っ張ってくれる上司」よりも、「意見をよく聞いてくれて丁寧な指導をしてくれる上司」を望んでいる。厳しさよりも優しさを求めており、ミスをしたときはその原因や今後ミスを繰り返さないためにどうしたらいいのかを一緒に考えるような、寄り添った指導が必要。



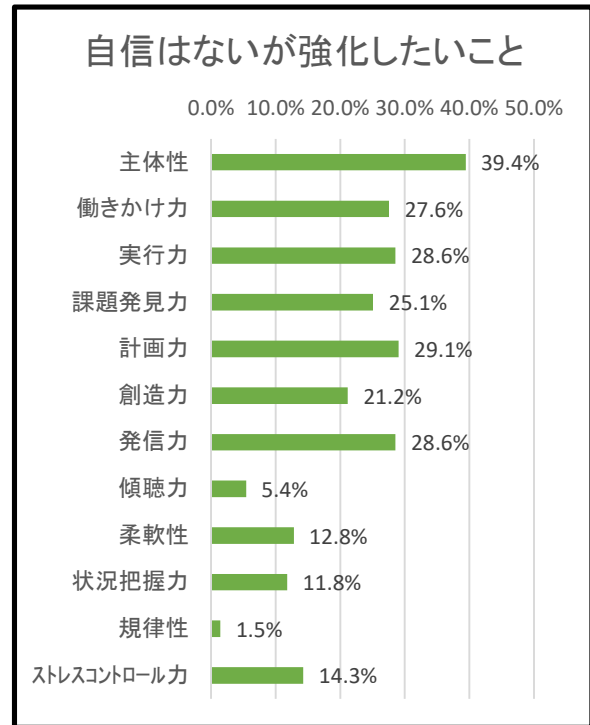
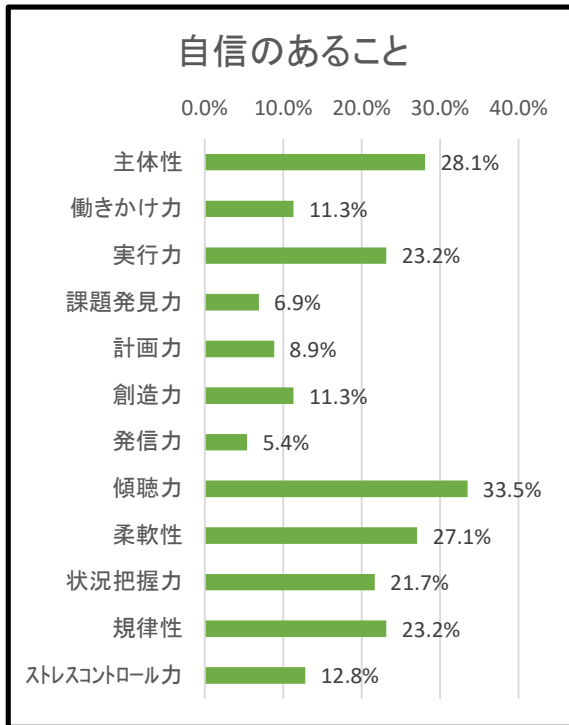
※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

(自己分析)

問10 あなたが今自信のある能力はどれですか？

問11 自信はないが、今後意識的に強化したい能力はどれですか？

(複数回答可、最大3項目)



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

自発的な行動力を鍛えたい

仕事をする上で自信のある能力(自身の強み)の上位は、1位「傾聴力」33.5%、2位「主体性」28.1%、3位「柔軟性」27.1%、以下「実行力」「規律性」「状況把握力」と続く。自信がないが意識的に強化したいことは、1位「主体性」39.4%、2位「計画力」29.1%、3位に「実行力」「発信力」で28.6%、以下「働きかけ力」「課題発見力」「創造力」と続いた。

「傾聴力」や「柔軟性」「状況把握力」「規律性」などの選択率が高いことから、周囲の人の話をきちんと聞いた上で状況を把握し、物事に取り組む・課題解決に向かう、といったことを得意と考えている人が多い。

一方、「主体性」をはじめとして「計画力」「発信力」「実行力」「働きかけ力」を強化したい能力と選択した回答が多く、「受け身にならず自分から動こうとすること」や「自ら立案し思い切ってやってみること」などを苦手としていることがうかがえる。

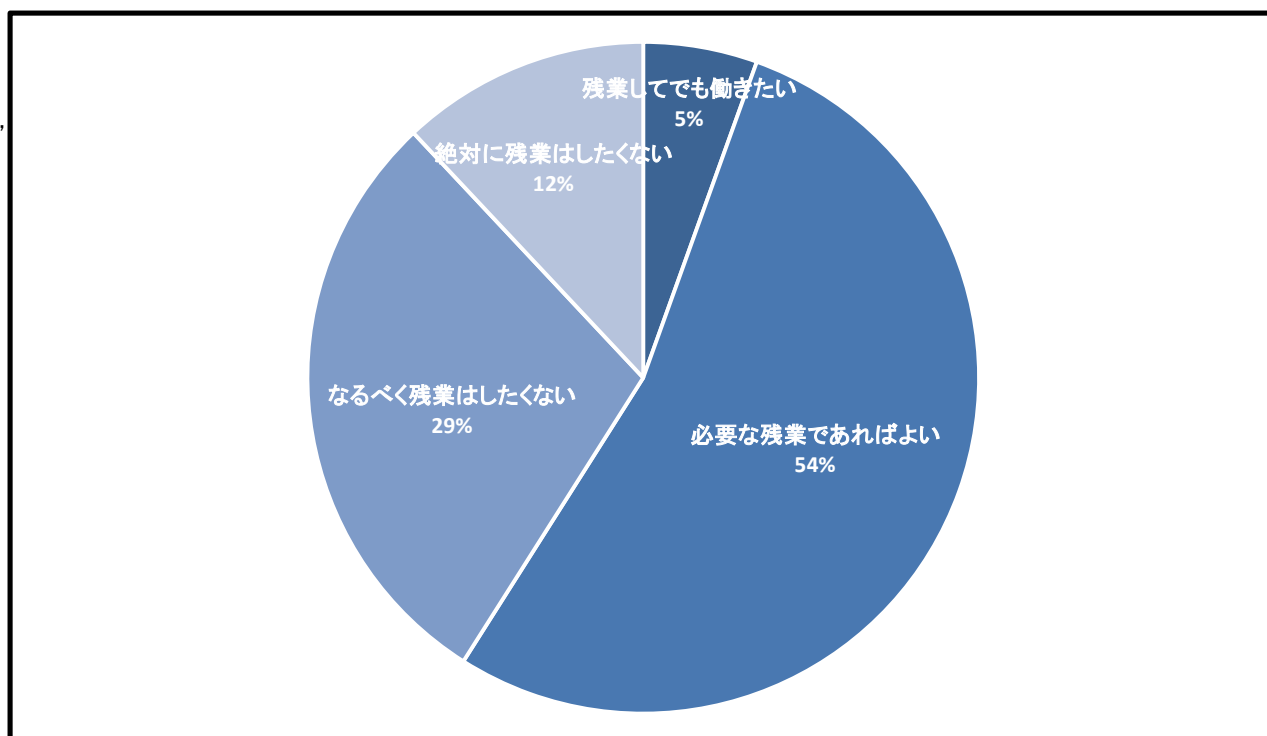
問12 残業についてお聞かせください

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
残業してでも働きたい		5.5%	7.2%	4.2%	0.0%	5.7%	9.4%	3.2%
必要な残業であればよい		53.5%	54.6%	55.8%	12.5%	54.7%	56.6%	51.1%
なるべく残業はしたくない		29.0%	25.8%	30.5%	50.0%	22.6%	26.4%	34.0%
絶対に残業はしたくない		12.0%	12.4%	9.5%	37.5%	17.0%	7.5%	11.7%

「効率的な働き方」を希望

「必要な残業であればよい」が最も多く53.5%、次いで「なるべく残業はしたくない」が29.0%となった。過半数以上が必要な残業であれば許容する一方で、「絶対に残業はしたくない」と答えた人が12.0%と想定以上に多い結果となった。

仕事も大切だが自分時間の確保も重要とする意識傾向は強く、効率の良い働き方を望んでいる。生産性向上を強く推し進める現代の企業の方向性とは一致していると言える。



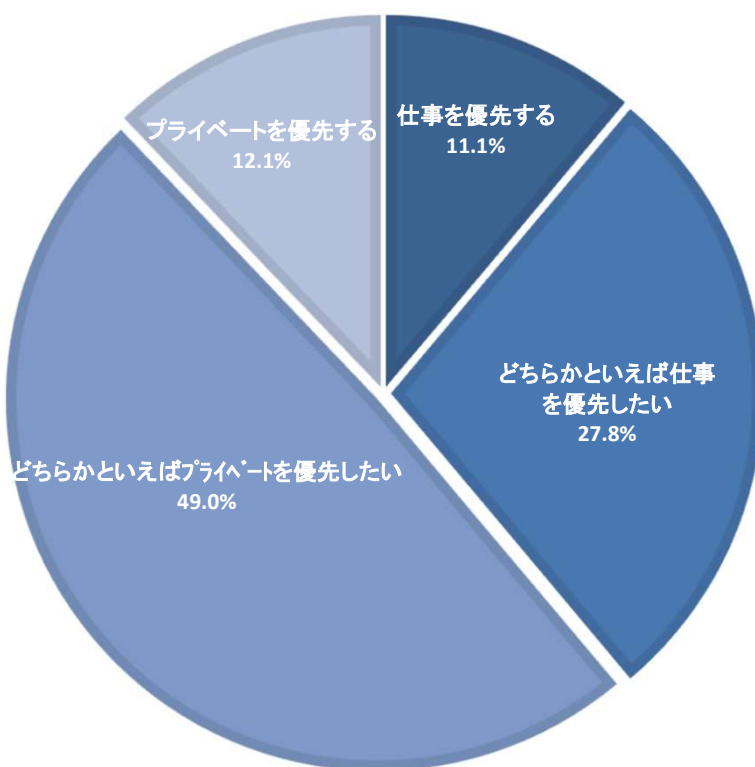
※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問13 仕事とプライベートについてお聞かせください

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
仕事を優先する		11.1%	14.6%	8.5%	0.0%	15.4%	19.2%	4.3%
どちらかといえば仕事を優先したい		27.8%	25.0%	31.9%	12.5%	25.0%	34.6%	25.5%
どちらかといえばプライベートを優先したい		49.0%	47.9%	52.1%	25.0%	48.1%	40.4%	54.3%
プライベートを優先する		12.1%	12.5%	7.4%	62.5%	11.5%	5.8%	16.0%

バランスを考えつつもプライベート優先傾向

1位が「どちらかといえばプライベートを優先」で49.0%。次いで「どちらかといえば仕事を優先」が27.8%となった。昨年までは「仕事と家庭のどちらを優先しますか」という設問であり、今年は「家庭」を「プライベート」へ変更。また、選択肢の3項目目に関しては、昨年は「仕事と家庭のどちらも重視」という表現であった。その表現の違いの影響か、昨年まで2～5%で推移していた「仕事を優先」が11.1%まで上昇している。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

(プライベート)

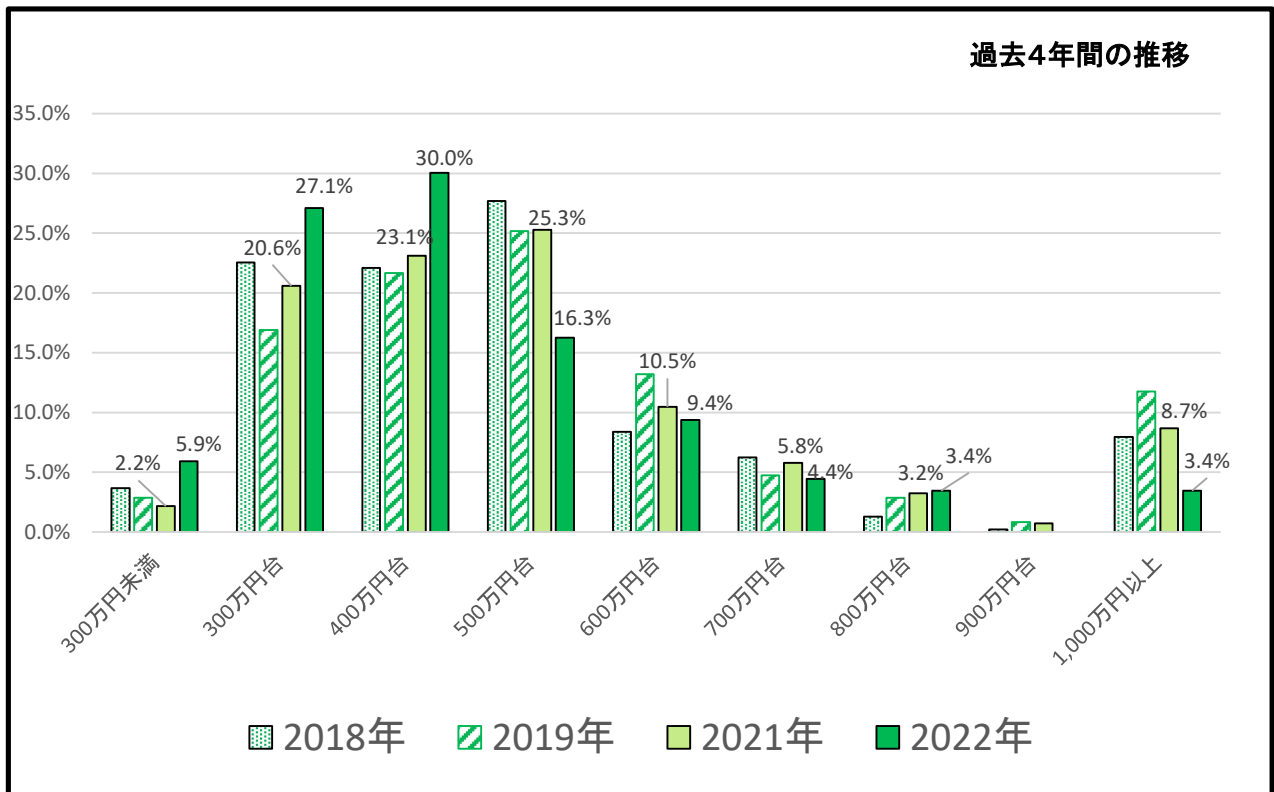
問14 30歳時点での理想の年収を教えてください

項目	分類	男女別				学歴別		
		合計	男性	女性	無回答	高校卒	短大卒	大学卒
300万円未満		5.9%	5.2%	5.2%	6.1%	7.4%	9.3%	3.2%
300万円台		27.1%	17.5%	17.5%	36.7%	35.2%	33.3%	18.9%
400万円台		30.0%	29.9%	29.9%	28.6%	27.8%	16.7%	38.9%
500万円台		16.3%	22.7%	22.7%	11.2%	13.0%	25.9%	12.6%
600万円台		9.4%	9.3%	9.3%	9.2%	7.4%	7.4%	11.6%
700万円台		4.4%	7.2%	7.2%	2.0%	0.0%	3.7%	7.4%
800万円台		3.4%	3.1%	3.1%	4.1%	5.6%	1.9%	3.2%
900万円台		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,000万円以上		3.4%	5.2%	5.2%	2.0%	3.7%	1.9%	4.2%

コロナ禍を受け、収入期待は低下

第1位「400万円台」、続いて「300万円台」「500万円台」となった。昨年までトップの「500万円台」は前年比9ポイント低下しただけでなく、500万円以上と答えた比率は、昨年の54.1%から37.0%まで大幅に低下。この2年以上に及ぶコロナ禍の経験からか、全体的に目線が下がっている。

男女別では、女性は「300万円台」、男性は「400万円台」が一番多く、全体的には男性の方が目線が高い。学歴別で見ると、高学歴ほど理想年収が高くなる結果となった。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

－ ご利用に際して －

- ☐ 本資料はアンケート結果に基づいて作成されていますが、当行がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ☐ 本資料に基づくお客さまの決定、行為、及びその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。